父 エピファネイア

牡 黒鹿毛 2020年5月11日生まれ コスモヴューファーム



エピファネイア 鹿毛 2010年	*シンボリクリスエス Symboli Kris S(USA) 黒鹿毛 1999年	クリス エス Kris S.	Roberto Sharp Queen
		ティー ケイ Tee Kay	Gold Meridian Tri Argo
	年 シーザリオ 青毛 2002年	スペシャルウィーク	* サンデーサイレンス キャンペンガール
ピエナビーナスの20		*キロフプリミエール Kirov Premiere	Sadler's Wells Querida
牡 黒鹿毛 2020.5.11 ピエナビーナス 青鹿毛 2004年	フジキセキ 青鹿毛 1992年	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo Wishing Well
		*ミルレーサー Millracer	Le Fabuleux Marston's Mill
	*オープニングタイトル Opening Title (IRE) 黒鹿毛 1995年	カーリアン Caerleon	Nijinsky Foreseer
		メイドン コンサート Maiden Concert	Condorcet Merdemain

*サンデーサイレンス 3D×4S. Hail to Reason 5S×5D. Northern Dancer 5S×5D

母 系

母**ピエナビーナス**(04 フジキセキ) 5 勝, クイーン S -G3(芝1800 m), 羊ヶ丘 特别(芝1200m), 下北半島特別(芝1200m), 府中牝馬S-G34着。本 馬は第6仔。産駒

ピエナトビーズ (14 牝 青鹿 *トビーズコーナー) 兵庫公 8 勝, 剱 ピースフルサンデー(16 牡 青 エイシンフラッシュ)1勝

バトルショータイム(17 牡 青 エイシンフラッシュ)東海公入着、 風

祖母*オープニングタイトル Opening Title (95 Caerleon)愛国産, 不出走。

イシヤクガルチ(牡*サンダーガルチ)熊本公2勝,中央1勝 レディーハンター(牝 フジキセキ)広島(公3勝

曽祖母メイドン コンサート Maiden Concert (81 Condorcet) 愛 1 戦。産駒

キャンディ グレン Candy Glen:英仏伊 6 勝, 伊2000ギニー-G1, 伊グラ ン クリテリウム-G1, ダフニス賞-G3, ローマ賞-G1 2 着, ヴィトリオ ディ カプア賞-G12着、セレブレイション マイル-G22着、ナターレディロ ーマ賞-G3 2 着、ロッキンジ S-G2 3 着、コヴェントリー S-G3 3 着、ゴ ントー ビロン賞-G3 3 着, パリ大賞典-G1 4 着。種牡馬

アシュリー パーク Ashley Park:愛2勝,愛ダービートライアルS-G3, 英障1勝。種牡馬

ザットル ビー ザ デイ That'll Be The Day:英伊 4 勝, ピサ賞**-G3** 2 着, Premio Seregno-L 2 着, Premio Alessandro Perrone-L 3 着, Premio Vittorio Crespi-L 3 着。産駒

ザッツ ザ ウェイ That's the Way:伊 4 勝, Premio Alessandro Perrone-L, プリミパッシ賞-G3 2 着, Premio Vittorio Crespi-L 2 着

ヒドゥンデイル Hiddendale:英 1 勝, ネル グウィン S **-G3** 3 着 **イムコ チャーマー** Imco Charmer: 伊 3 勝, バグッタ賞**-G3** 2 着

ティヴォリ ガーデン Tivoli Garden:愛2勝, ブランドフォードS-G34着。

パインウッズ リリー Pinewoods Lily:愛8戦。デインティダンディ Dainty Dandy (プリンセス マーガレット S -G3 3 着)の母



母の父

フジキセキ

千歳産, 最優秀2歳牡馬, 4戦全勝, 朝日杯3歳S-JPN1(1600m)。主 な産駒 イスラボニータ(皐月賞 -G1, ダービー-G1 2着), サン ク ラシーク(ドバイ シーマ クラシック -G1)。母の父としてカーマデック (ATCドンカスター マイル-G1). ヨウセイ(AJCサイアーズ プロ デュース-G1), サウンドトゥルー (チャンピオンズC-G1), ホワイト フーガ(JBCレディスクラシック -JPN1)、アリゼオ(毎日王冠-G2) を出す

CHECK POINT

父エピファネイアは牡牝ともにクラシック 馬を輩出しています。その父シンボリクリ スエスに似ない手先の軽い産駒を出すの は不思議なぐらいで、半弟リオンディー ズ(父キングカメハメハ)の方が種牡馬 としては期待されていたはずです。本馬 もやはり手先に力があってバネもあって 歩きが軽いんです。東京コースは合うと 思います。エフフォーリアのようにSSの 4×3配合も当たり前の時代です。本音(?) を言えばゴールドシップ産駒で牡馬クラ シックを獲りたいですが、結局、こういう バネのある馬のほうが日本ダービーに近 い気がします。期待の一頭です!



